

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		1-	1
事業名	一般管理経費	会計	款	項	目
		一般	2	1	1
施策	6 語らいのあるまち	課名	総務課		
	6-4 行財政運営の充実したまちをつくる	係名			
	6-4-1 町民サービスの向上				
主要施策	② 行財政改革の推進		③ 人材育成		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	庁舎全般的な一般管理、人事評価による職員の資質向上、定員管理による適正な職員配置と優秀な人材の採用により、町民が質の高い住民サービスを受けている。
事業内容	①庁舎全般的な円滑な一般管理を行う。 ②人事評価制度事務…目標設定と評価により、職員一人ひとりの自己成長を促す。 ③定員管理事務…事務事業を効果的・効率的に遂行するために職員を適正に配置するとともに、これからの時代を担う優秀な人材を採用する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1	評価の納得性	86.72	未実施	未実施	%	↑	95
2	年次別目標職員数	211	216	221	人	→	216	
3								
4								
5								
			令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)			令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			42,721	33,366			35,486	
財源内訳	直接事業費 A		28,423	21,972			24,488	
	うち一般財源		26,290	19,915			22,475	
人件費 (千円) B			14,298	11,394			10,998	
内訳	一般職員 (人・千円)		2.03	13,398	1.59	10,494	1.53	10098
	臨時職員 (人・千円)		0.5	900	0.5	900	0.5	900

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	一般管理経費の削減。職員の育成と優秀な人材確保。	③取組の課題	再任用職員の能力の活用と適正な配置。障がい者の雇用の拡充。
②R2年度に実施した取り組み	人事評価において、引き続き挑戦度や達成度の調整を行い、評価システムの導入準備を進めた。	④今後の改善計画	再任用職員の配置と障がい者雇用の拡充を含めた定員管理計画の策定。